

水系ゼロVOC内装用塗料

シーカウオール-490

—— シックハウスから守りたい。 ——

新開発の特殊吸収剤が、シックハウス症候群の原因物質の一つであるホルムアルデヒドを効率よく吸着します。更に、幅広い有害な菌に対して繁殖抑制効果を発揮、あなたの大切な家族をより安全な室内環境で守ります。

ホルムアルデヒド吸着性

シックハウス症候群の原因物質の一つであるホルムアルデヒドを吸着し、拡散を防ぎます。

抗菌性

幅広い菌に対して菌繁殖抑制効果を発揮します。

ゼロVOC

凍結防止剤、成膜助剤などの溶剤を全く含んでいません。また、日本塗料工業会の室内健康塗料の目標基準(TVOC1%以下)を大幅にクリアしています。

耐久性

外部塗料にも匹敵するすぐれた耐候性、耐アルカリ性、耐水性および耐洗浄性などの塗膜物性を有し、塵埃などの汚れも簡単に水拭きで払拭できます。

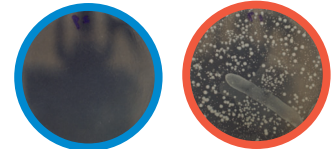
作業性

作業性にすぐれ、刷毛目、塗り継ぎムラの心配がなく、高効率の施工が可能です。

安全性

完全水系のため、火気による危険性がなく、また防火性にもすぐれ、国土交通省防火材料の規格に適合しています。(申請中)

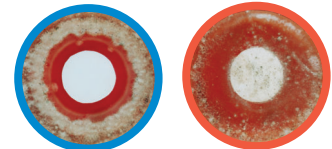
● 抗菌試験 (大腸菌)



処理済

未処理

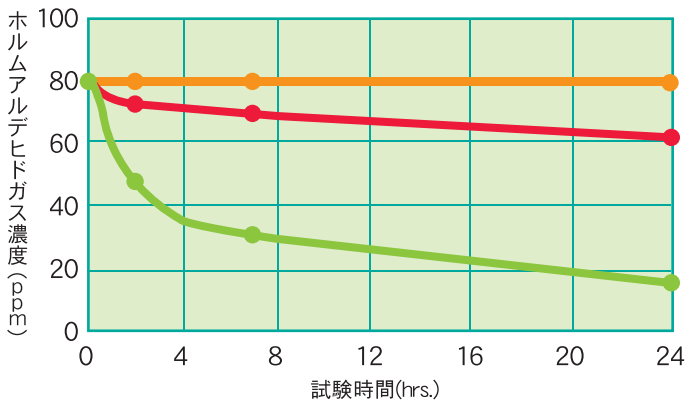
● 防カビ試験 (JIS菌5種)



処理済

未処理

● 悪臭ガスの吸着グラフ (ホルムアルデヒド)



従来の内装用艶消しエマルジョン塗料では、ホルムアルデヒドの臭気を抑制することは期待できませんが、塗布面では、ホルムアルデヒドを8時間後に、約50%以下に軽減しました。

さらに、24時間後では80%軽減し、その後も効果を持続します。

- シーカウオール-490
- 艶消しエマルジョン塗料
- 未塗装

■ 試験成績表

試験項目	品質基準		結果	試験方法
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一樣になること		異常なし	JIS K 5663 による
塗装作業性	2回塗り、塗装作業に支障がないこと		異常なし	JIS K 5663 による
低温安定性	-5℃に冷やした時、変質しないこと		異常なし	JIS K 5663 による
乾燥時間	20℃	2時間以内	1時間	JIS K 5663 による
	5℃	4時間以内	2時間	
塗膜の外観	外観が正常であること		異常なし	JIS K 5663 による
隠ぺい率	95%以上 (白)		96%	JIS K 5663 による
耐アルカリ性	水酸化カルシウム飽和液に18時間浸しても異常がないこと		異常なし	JIS K 5663 による
耐洗浄性	100回の洗浄に耐えること		異常なし	JIS K 5663 による

■ 標準施工工程

◎クロス塗り替えの場合 (ゼロVOC仕様)

工程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1	素地調整	下地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、異物等を完全に除去して下さい。					
2	シーカウォール-490 清水	16kg 0.4~1.0%	0.25~0.30kg/m ²	2	1時間以上	—	刷毛、 中毛ローラー

◎一般下地の場合 (低VOC仕様 国土交通省防火認定申請中)

工程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	素地調整	下地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、異物等を完全に除去して下さい。石膏ボード、石綿スレート板の下地調整は、別途仕様書を参照して下さい。						
2	素地押え	ダイヤワイドシーラーホワイト 清水	15kg 1.5~4.5%	約0.10kg/m ²	1	—	2時間以上	刷毛、 中毛ローラー
3	施工	シーカウォール-490 清水	16kg 0.4~1.0%	0.25~0.30kg/m ²	2	1時間以上	—	刷毛、 中毛ローラー

※工程内・工程間の塗装間隔時間は、23℃・50%RHの場合です。 ※シーカウォール-490は艶消しが標準としてありますが、その他に3分艶があります。

■ 適用下地

- 建物一般内部壁面
コンクリート、モルタル、石綿スレート、石膏ボード等
- クロス面の塗り替え

■ 包装単位

ダイヤワイドシーラーホワイト 15kg缶
シーカウォール-490 16kg缶

■ 施工・保管上の注意点

【塗面の調整 (新設)】

- ①下地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、異物等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下 (pH10以下) になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
 - 1) 豆板、木コシ、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンシャス#2000、セメンシャス#2500、リマメル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑して下さい。
 - 2) 表面が緻密でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤガンシーラー又は、ダイヤシーラーエボをご使用下さい。
- ④ALCパネルの場合
ダイヤカチオンフィラーを塗布して下さい。
- ⑤セコボードの場合
公共建築工事標準仕様書やJASS18 塗装工事に準じて、塗面を調整して下さい。

【塗面の調整 (新設・改修共通)】

- ①屋上防水、目地排水管などの浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

【塗面の調整 (改修)】

- ①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理 (ケレン、清掃、高圧水洗浄) などを行って下さい。
- ②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③チャッキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン除去して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨 (雪) 養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと残りが残りとなります。
- ④乾燥時間は、温度・湿度・おひび、風等により変質をします。
- ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑨本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。

- ⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。

- ⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑭塗装下地の差によって、塗布量が異なる場合があります。
- ⑮フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。
- ⑯可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑱乾燥時間は、温度、湿度および、風等により差異が生じます。
- ⑲濃色や原色に近い色の場合、強くこすると色が取れる場合があります。
- ⑳下地の吸込みムラにより色合いのムラが発生する場合があります。
- ㉑シーラーと上塗りを混合するとケレン化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ㉒上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- ㉓既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗後ダイヤガンシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
- ㉔塗装後、5~6時間 (標準状態23℃、50%RH) は、水がかからない様にして下さい。ふくれの原因となります。
- ㉕低温の場合及び多量の場合は乾燥時間が遅くなります。特に、室内の場合は、通風を良くして下さい。
- ㉖シーカウォール-490の塗回数は2回です。1回目と2回目の塗装間隔時間は、1時間以上 (気温23℃の条件下) 放置乾燥させて下さい。
- ㉗清水で希釈する場合、薄め過ぎると「かぶり」が悪くなり、きれいに仕上らないことがありますので、希釈量を厳守して下さい。特に、主材の吸込みがない場合や塗材が濃色の場合は、少なめに希釈して下さい。
- ㉘弾性タイプでないため、目地部、突き合わせ部分などの下地の動きが激しい部分では塗膜に亀裂が発生するおそれがあります。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いには、できるだけ皮膚に触れないように、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- ⑤廃塗料、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦頭を飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切った後、容器を十分に洗浄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

- ①その他、詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート (SDS) をご確認下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(*23.11現在) 23.00.0.000 SJ